

意見提出

委員氏名	笠見 昭信
------	-------

<御意見>

１．世界で活躍できる人材の育成

激しい変化の中で今後日本が世界の中でリーダーシップを発揮していくためには、グローバルな視野で活動し人的ネットワークもしっかりと築ける人材の育成が鍵であります。企業にとっても、深い技術能力と新知識を持ち新しい市場を切り拓いていける人材、特に高度な新技術体験を持つドクタークラスの人材が今後重要になります。しかし、現実には、欧米に比べて大きく見劣りします。産業界で活躍したいと思うマスターの学生がドクターへ進学したいと思うような博士課程を産学双方が汗を流して築いていく必要があります。

その為には全体を見据えた総合的な施策が必要と考えます。例えば“２１世紀ＣＯＥプログラム”をベースにこのいくつかを真の“世界のＣＯＥ”にしていくことです。重要なことは学部学科等既存の組織を越えて有能な人材を集結させ、新たな融合技術領域にチャレンジしていく研究センタに成長していくことです。そしてこの研究センタを産学協働のコアとし、ここでは大学院の学生が産業界の研究者はもとより経営陣ともインターアクションを起こせる拠点とすることです。これによって世界の窓、産業界への窓を持つ研究と教育の場が築け、結果として有能な人材が世界から集まる真のＣＯＥに近づくことが出来ます。

２．新しい日本型の研究開発システムの構築

国立大学と国立研究所の法人化及び企業研究所の変質等、大学及び企業を取り巻く環境が激変する中で、これら全体を俯瞰し、日本として、先端的基礎・基盤技術の研究開発を今後どう協力し分担してグローバルな競争力強化に繋げていくのか、新しい日本型の研究開発システムの構築が重要と考えます。